

科目名	地理学の基礎 I	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			全学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Basics of Human Geography	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
開講期間		■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	しのはら しゅういち	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	篠原 秀一	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	人文地理学入門			
到達目標	人文地理学の基本的な考え方・用語を理解し、現実社会を人文地理学的に考えられるようになる。			
授業概要	<p>基本概念・学術用語・調査法の基礎を解説し、具体的な地域事例を示して、人文地理学を入門的に紹介する。以下を授業内容・枠組みの基本とする。</p> <p>CAITLIN FINLAYSON (2019): 『Introduction to Human Geography』全159p. (Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike4.0 International License)</p>			
授業計画				
第1回	I. 地理学的に考えるとは? (その1: 地理学とは? / 位置 / 地図)			
第2回	I. 地理学的に考えるとは? (その2: 空間秩序 / 諸地域 / 全地球化 / 環境)			
第3回	II. 人口と人口移動 (その1: 人口分布 / 人口構造 / 人口動態転換)			
第4回	II. 人口と人口移動 (その2: 人口変容の諸要因 / 人口移動 / 移動者特性)			
第5回	III. 文化地理学 (その1: 文化景観 / 文化伝播)			
第6回	III. 文化地理学 (その2: 言語 / 宗教 / 「文化」の独自性と軋轢)			
第7回	III. 文化地理学 (その3: 地域イメージ / メンタルマップ)			
第8回	IV. 政治地理学 (その1: 国家 / 政治的境界 / 政府の諸形態)			
第9回	IV. 政治地理学 (その2: 政治的変革 / まとまりの維持 / 地政学)			
第10回	V. 農業地理学 (その1: 諸起源と伝播 / 農業集落の発展諸様式)			
第11回	V. 農業地理学 (その2: 農業の諸形態 / 農業革命 / 現代世界農業)			
第12回	VI. 都市地理学 (その1: 諸都市の起源・発展と分布 / 現代世界の諸都市)			
第13回	VI. 都市地理学 (その2: 諸都市の内部構造 / 社会的共通資本 / 都市の挑戦)			
第14回	VII. 産業と地域発展 (その1: 産業革命 / 産業の諸形態 / 発展の計測・分析)			
第15回	VII. 産業と地域発展 (その2: 地球経済と貿易 / 持続的発展)			
第16回	定期 (期末) 試験			
授業時間外の学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の前日に、「授業計画」にあるキーワードから、授業内容を自由に想像してみてください。(0.5時間) 2. 授業後、基本的な考え方・用語を、自らの講義ノートと授業資料により復習し、自らの自由な想像を修正してください。(1.0時間) 3. 日常的に時々、身の廻りを人文地理学的に観察してみてください。(0.5時間) 4. 身の廻りも含め様々な地域スケールで、世界の現状を新聞やニュースで確かめ、社会的課題を人文地理学的にも考えるように心掛けてください。(1.0時間) 			
履修条件 受講のルール	<p>履修条件：特にありません。</p> <p>受講のルール：「地理学の基礎 I」は人文地理学入門、「地理学の基礎 II」は地誌学入門（世界地誌と自然地理の一部を含む）です。本格的な自然地理学入門講義は「自然と地理」です。</p>			
テキスト	特にありません。講義中に資料を配付します。			
参考文献・資料	講義中に適宜、紹介します。できれば、帝国書院か二宮書店が編集した本格的な（学習）地図帳（日本・世界編）を手元に置き、参照しながら授業を受けてください。			

成績評価の方法	総合評価：期末試験 75%、ミニレポート 25%。ミニレポートの課題は授業全体の中盤で指示します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けてミニレポートを提出することができません。また、出席確認時に不在だった場合には、原則としてその授業回は欠席と見なします。授業中に未許可で退出した場合には、欠席と見なします。
オフィスアワー	講義時間（前期水曜日 1・2 時限）前後
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	仮に、実務経験があれば、授業内容はより分かりやすいはずです。
学生へのメッセージ	折角ですから、「人文地理学」を楽しみ、一生、好きになってもらえる契機となれば、幸いです。